

検討の観点と内容の特色

観 点	特 色	具体例 ■ 学年・教科書ページ
<p>1 教育基本法との関連</p>	<p>①書写学習を通して、幅広い知識と教養を身につけるとともに、自らの文字を正しく整ったものにしていく課題解決の過程で、自主・自律の精神を養えるよう編修されている。 ②文字文化単元「文字のいずみ」を中心に、伝統と文化を尊重する 態度を養うよう配慮している。</p>	<p>①全学年・全単元 ②「文字のいずみ」俳句・短歌や古文・漢文などの伝統的言語文化作品のなぞり書き ■1年35, 2年31, 3年36, 4年34, 5年26・32, 6年26・32 書き初めや年賀状 ■1年32-33, 2年28-29, 3年29-31・53-56, 4年26・27-29・49-52, 5年27-29・49-52, 6年27-29・49-52 文字の歴史や世界の文字, 筆記具などについての知識 ■1年27・34, 2年30, 3年21, 4年19, 5年38-39, 6年38-39</p> 
<p>2 教育課程および学習指導要領への対応</p>	<p>①学習指導要領の書写に関する事項をもれなく指導し、ねらいを達成できるように、単元を組織・配列している。 ②言葉・文字による見方・考え方を働かせて、書写に関する知識・技能と、文字を正しく整えるための思考力・判断力・表現力等を育成できるよう配慮している。</p> <p>○児童自らが書写をどのように学ぶのかを理解したうえで、見通しを持って学び、友達や教師との対話を通して学びを振り返ることができるように工夫することで、「主体的な学び」「対話的な学び」を実現できるように構成されている。また、学んだことを他の文字や生活の中で活用することを通して、「深い学び」を実現できるようになっている。</p>	<p>①全学年・全単元 ②全学年・全単元</p> <p>・1年間の学びを見通すイラストマップ「集めて使おう、書写のかぎ」 ■1年表紙裏-1, 2～6年表紙裏・折込2 ・書写の学習過程の図解「書写の学び方」 ■2～6年折込3 ・対話的活動を取り入れた単元末の振り返り「ふり返って話そう」 ■1年3, 2年5, 3年12, 4年10, 5年10, 6年10ほか ・対話的学びの具体的な場面を示す写真 ■1年11, 2年37, 3年折込3・38, 4年折込3・36, 5・6年折込3・34 ・活用力をつける「生活に広げよう」 ■1年20-21・44-45, 2年22-23・38-39, 3年26-27・40-41, 4年24-25・38-39, 5年24-25・36-37, 6年24-25・36-37ほか</p>  
<p>3 教科書の構成上の配慮と工夫</p> <p>1) 内容・系統・配列</p> <p>①単元の系統性が図られているか。</p> <p>②硬筆・毛筆指導の関連が図られているか。</p> <p>2) 教材の選定</p> <p>①教材の程度・分量は適切か。</p> <p>②国語科国語や他教科の学習、学校生活との関連が図られているか。</p> <p>3) 全ての児童が使いやすい紙面への配慮</p> <p>①特別支援教育への配慮や工夫が適切になされているか。</p>	<p>①書写学習の基礎・基本的な事項を確実に習得できるように、学年の発達段階に応じて重点化しながら系統的に単元を配列し、螺旋的に学習できるように工夫している。 ②単元ごとに原則として一つの「書写のかぎ」を置き、単元名にも学習事項を端的に示すことで、学習のねらいを明確化・焦点化している。 ③書写の学習要素を系統的に分類・整理してインデックスに示すことで、児童自身が系統性を意識した学習ができるよう工夫している（3年以上）。</p> <p>①単元は、(1)硬筆文字から「書写のかぎ」を発見し課題を共有する → (2)毛筆で大きく書くことで確認する → (3)硬筆で別の文字を書くことで定着を図る という展開で、毛筆を使用する学習が硬筆で書く力の基礎となるように構成している。 ②毛筆教材と硬筆教材との配分を考慮し適切な順で単元を配列すること、硬筆・毛筆を効果的に関連させた指導ができるようになっている。</p> <p>①学年の配當時数に照らして適切な単元数、分量で、硬筆と毛筆の学習ができるようにしている。 ②硬筆文字・毛筆文字ともに、児童の学びやすさを考慮した簡明な筆使いとしている。書風は健康的で明るく、濃度や筆圧にも配慮して執筆している。 ③教材文字は、各単元の指導事項に適した字形、学年段階に応じた語彙を選んでいる。 ④図解やイラスト、写真、朱墨文字などを取り入れて、児童の内容理解の助けとなるよう工夫している。 ⑤運筆能力の向上のために、水書による学習を取り入れている。</p> <p>①「生活に広げよう」において、ノートやメモ、リーフレット、ポスターの書き方など、国語と連動させた言語活動を取り上げ、生活に活用できる書写力の育成を促している。 ②国語や他教科の学習と連動している教材には、🔑のマークをつけて意識づけを図っている。 ③当該学年の漢字を提出する際は読み仮名や筆順を示し、国語の学習時期による支障がないよう配慮している。 ④巻末のローマ字表は、英語教科書で使われる幅の4線を採用し、英語教科書用に開発されたフォントに近い字形の手書き文字にして、児童の学習しやすさに配慮している。</p> <p>①文意を理解しやすいように、文節で改行している。 ②学習の流れや情報の軽重が分かりやすいレイアウトにし、イラストやキャラクターに使う色の数や分量を抑制することで、児童の集中を妨げないよう配慮している。 ③点画を色分けしたり擬態語やキャラクターの動きを加えたりして、多感覚へ働きかけることで、児童それぞれの特性に合わせて理解を助けるよう工夫している。 ④弱視の児童の学習のために、教科書と同じ内容の拡大教科書の発行を予定している。</p>	<p>①全学年・全単元 ②「書写のかぎ」 ■1年12, 2年8, 3年13, 4年10, 5年10, 6年10ほか ③「書写のかぎ」インデックス ■3年13, 4年11, 5年11, 6年11ほか 巻頭折込の「集めて使おう、書写のかぎ」でインデックスにカテゴリーを示すことで、より系統性を意識できるように工夫している。 ■3～6年折込2左端</p> <p>①毛筆教材で学んだことを他の硬筆文字に生かしていく活動 ■3年12, 4年10, 5年10, 6年10ほか ②毛筆教材を中心とした単元と硬筆教材を中心とした単元の関連 ■4年16-17「組み立て方(左右の部分)」, 20-21「組み立て方(上下の部分)」, 22-23「いろいろな組み立て方」ほか</p> <p>①全学年・全単元 ②全学年・全単元 ■1年12-13, 2年26-27, 3年14-15, 4年12-13, 5年12-13, 6年12-13ほか ③全学年・全単元 ■3年22-23「はらい」(人), 5年18-19「ひらがな(点画のつながり)」(きずな) ④全学年・全単元 ■1年16, 2年32, 3年16, 4年16, 5年20, 6年18 ⑤教科書に水書用紙を付けることで、全員が学習しやすい環境整備に配慮している。 ■1年11・巻末, 2年14・巻末</p> <p>①「生活に広げよう」学校生活の中で広く使われる連絡帳やノート、メモ(■2年15, 4年18, 6年16ほか)、他教科の学習で使われる新聞やリーフレット、ポスター(■4年24-25, 5年24-25, 6年24-25ほか)など。 ②🔑 ■1年34, 2年22-23, 3年26-27, 4年24-25, 5年15, 6年16ほか ほかにも、国語との関連として、関連図書を紹介する「こんな本もいっしょに」で、読書指導の充実を図っている。 ■2年30, 6年39ほか ③全学年・全単元 ④■3年43, 4～6年41</p> <p>①全学年・全単元 ■1年30-31, 3年34-35, 5年16-17ほか ②全学年・全単元 ■1年12, 4年10ほか ③1・2年 ■1年16, 2年8-9ほか ④全学年</p>  

- 知識及び技能
- 思考力、判断力、表現力等
- 学びに向かう力、人間性等
- 主体的・対話的で深い学び
- 見方・考え方
資質・能力
- 学習過程の
明確化
- 学習の系統性の
重視
- 国語との連携
- 文字文化
- 特別支援教育
- ユニバーサル
デザイン
- 幼小接続
- スタート
カリキュラム
- 小中接続
- カリキュラム
マネジメント
- 他教科との関連
- 教科横断的に
取り組む課題
- 授業支援
- ICT活用
デジタルコンテンツ
- デジタル教科書
- 教師用指導書

観 点	特 色	具体例 ■ 学年・教科書ページ
3) 全ての児童が使いやすい紙面への配慮	<p>②ユニバーサルデザインを実現しているか。</p> <p>③人権上の配慮がなされているか。</p>	<p>①■1年9（なぞり書きも加えてスモールステップにしている）、2年19（文の場合は左右に書き込み欄を設けている）、3年14ほか</p> <p>②全学年・全単元 ■1年12-13、4年10-11ほか</p> <p>③全学年・全単元 ■2年12-13、3年18-19ほか</p> <p>④全学年 ■4年10-11ほか（単元名や本文などは教科書体で、「書写のかぎ」やキャラクターのせりふ、振り仮名などは、字形に配慮しつつユニバーサルデザインフォントのゴシック体を使用。）</p> <p>①全学年 ■1年表紙裏写真、2年表紙裏・折込2イラストほか</p> <p>②全学年</p>
4) 今日的な課題への取り組み	<p>①現代的な教育課題に対し、どのような取り組みをしているか。 (情報教育、防災・安全教育、国際理解・グローバル教育、キャリア教育、環境教育、オリンピック・パラリンピック教育など)</p> <p>②授業支援と教員の負担軽減への取り組みが図られているか。</p> <p>③幼小接続、小中接続が円滑に行われるよう配慮されているか。</p> <p>④カリキュラム・マネジメントへの取り組みが図られているか。</p> <p>⑤教育のICT化への取り組みが図られているか。</p> <p>⑥2・3学期制や複式学級指導への配慮がなされているか。</p>	<p>○各種の教育課題に関わる題材や活動を取り上げ、書くことを通して、課題への理解を深められるよう配慮している。</p> <p>①何を学ぶか（「書写のかぎ」）、どのように学ぶか（「見つけよう」「確かめよう」「生かそう」「ふり返って話そう」の学習過程）ということを確認かつ丁寧に示していて、無理なく指導ができる。</p> <p>②1・2年生では、必要に応じてページの下端に「学習にあたって」として、教師や保護者に向けた指導上の留意点を示している。</p> <p>③教科書に連動したデジタルコンテンツを活用することで、一斉に映像を見せながら個別指導を行うなど、指導の効率化が図れるよう工夫している。</p> <p>①就学前の幼児の文字との触れ合いを示す写真を提示することで、児童の経験を掘り起こし、小学校での学びへと円滑に移行できるように工夫している。</p> <p>②6年生で、これまでの学習を振り返って中学校へ向けて進むための話し合いを促したり、文字の歴史の中で行書に触れたりしている。</p> <p>①基本単元は、毛筆を使った学習との関連を考慮しつつ、硬筆を使う「見つけよう」「生かそう」を10分程度の短時間学習として扱うことも可能である。</p> <p>②1年生の第1単元「たのしくかこう」は、全教科の学習の基盤としてスタートカリキュラムに組み込んで活用すると効果的である。</p> <p>③「生活に広げよう」は、国語や他教科で取り上げられる言語活動を題材としているので、関連付けたり合科的に扱ったりすることが可能である。</p> <p>①教科書上の⑤がある単元では、学習に役立つデジタルコンテンツを提供している。インターネットを使って、書く姿勢や筆記具の持ち方の映像、書写体操のアニメーションなどを見ることができる。家庭学習や個に応じた指導にも対応できる。</p> <p>②教科書と同じ内容の学習者用デジタル教科書の発行を予定している。</p> <p>①単元の配列及び時間配当は、3学期制、2学期制のいずれにも対応できるように配慮している。</p> <p>②複式指導に配慮して、学年が異なっても、毛筆を使った学習が同時期になるように単元配列している。用具の準備等の負担を軽減するように努めている。</p>
5) 表記・表現、印刷・造本に関する配慮	<p>①文章は的確・簡潔で、学年段階に応じて分かりやすい表現としている。表記や用語は統一した基準を設けている。</p> <p>②使用する漢字は、原則として当該学年以下とし、漢字の学習時期に配慮して、当該学年の漢字には振り仮名をつけている。</p> <p>③手書きの硬筆文字の字形や書き方に準拠し、国語・書写の学習に適した教科書体を独自に開発・使用している。</p> <p>①AB判のワイドな紙面を活用して、図版を大きくして資料性を高め、書き込み欄を充実させている。</p> <p>②毛筆教材文字のページは、半紙の縦横比率に合わせてあるので、半紙での配列の参考になる。</p> <p>③硬筆文字や毛筆文字は、印刷の濃度や色味を調整して、より本物に近く、見やすいものになっている。印刷は鮮明で正確である。</p> <p>④用紙は、鉛筆で書き込みがしやすく、軽量で耐久性に優れたものを開発し、使用している。</p> <p>⑤製本は堅牢で、長期使用に耐えられる。表紙は耐久性を高める加工をしている。</p> <p>⑥環境に配慮し、再生紙や植物油インキを使用している。</p> <p>⑦水書用紙は、繰り返しの使用に耐える丈夫な紙質で、はがしやすい特殊な糊で貼付している。</p>	<p>①全学年</p> <p>②全学年</p> <p>③全学年 ■1年18-19ほか</p> <p>①全学年</p> <p>②3～6年基本単元</p> <p>③全学年</p> <p>④全学年</p> <p>⑤全学年</p> <p>⑥全学年</p> <p>⑦1・2年 ■1・2年巻末の水書用紙</p>